

令和3年度柏市立風早南部小3年生 総合的な学習により

おいしいカブワニ



すごいぞ！柏プロジェクト！

2021年10月7日 第3号

柏市役所 農政課の方の特別授業！

10月5日（火）柏市役所の農政課の上出さんと、柏市内のかぶ農家の木村さんが来校し、3年生の子どもたちに柏市の農業の様子や、かぶの育て方についての特別授業を行ってくださいました。この授業は、7月の社会科「農家の仕事」の学習のときに、「市役所の人に話を聞いてみたい！」という子どもたちの思いから生まれました。そして今回、柏市役所の農政課さんの温かいご協力によって、子どもたちの願いが実現しました。3年生の子どもたちにとって、柏市の農業やかぶ作りについて、学びの多い1時間となりました。



特別授業では、柏市の農業に関するクイズに挑戦しました。「**柏市の3大野菜は？**」「**3大フルーツは？**」「**柏市の農家は増えてる？減っている？**」「**かぶはどうやってなるの？**」など、楽しく学べるクイズに、子どもたちは大いに盛り上がりました。また、市役所の上出さんや、農家の木村さんのご厚意で、正解した子には、木村さんの畑で今朝獲れたばかりのかぶをプレゼントしてくださいました。また、ちーばくんのシールや、柏の野菜クリアファイル、今後の学習に生かせる、農業のパンフレットもいただきました。

後半の質問コーナーでは、子どもたちからたくさんの質問が出ました。「**柏市のかぶにはどんな特徴があるのですか？**」「**なぜ柏市ではかぶ作りが盛んになったのですか？**」など、柏市の農業のよさや歴史について学びました。また、「**おいしいかぶを作るにはどうしたらいいですか？**」「**ビニールハウスや殺虫剤は必要ですか？**」など、実際に育てているからこそ出る質問もあり、プロの農家さんにアドバイスをいただけたことは、子どもたちにとってこれ以上ない学びでした。



お話の中で、柏市のかぶは、オランダの日本食レストランでも提供されていることや、木村さんの畑では、1日に100ケース、2000個ものかぶを収穫するなどの話があり、子どもたちは驚きました。どれも教科書には載っていないことばかりでした。

そして、最も印象的だったことは、**かぶを育てる心がまえ**についての話です。「**食べてもらう人に「おいしい」と言ってもらえることを大切に考えている。**」「**かぶは、みんなに食べられるために生まれてきたわけではない。子孫を残すために、一生懸命生きている。みなさんも愛情をもって育ててほしい。**」など、かぶを育てる上で大切にしたい心を教わりました。かぶという命を相手にする子どもたちには、この木村さんの教えを忘れずに、今後の栽培活動を行ってほしいと思います。

今回、お世話になった方々への感謝の気持ちを忘れず、これからも地域の人との温かい関わりを通して、学びをさらに広げていってほしいと思います。